



取扱説明書



フレールモアアタッチ

MF90

MF100



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると事故を引き起こす恐れがあります。

ご使用前に必ずお読みください。お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

安全作業で家族も笑顔


目次

はじめに	2
安全銘板の貼り付け位置	3
保証とサービスについて.....	4
保証書について	4
アフターサービスについて	4
補修用部品の供給年限について.....	4
各部の名称と、機能・役割	5
各部の名称.....	5
各機能と役割	6
1. 刈り高さの調整	6
2. ロールフローティング機能.....	6
作業前の準備	7
フレールモアアタッチの着脱	8
装着の仕方.....	8
取り外し方	10
運転および作業の仕方	11
運転・操作の練習	11
移動の仕方.....	11
作業の仕方.....	11
保守管理について.....	176
ナイフの交換時期	16
作業シーズン中.....	17
作業シーズン終了後.....	17
グリース注油箇所	17
消耗部品一覧.....	18
トラブルの原因と処置方法	19
主要諸元.....	20

ササキ商品をお買い上げいただき

誠にありがとうございます。

はじめに

- ◎ この取扱説明書は、フレールモアアタッチの取扱方法と、使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には、必ずこの取扱説明書とあわせて、ブームマスターZ本体の取扱説明書を熟読するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、常に最良の状態でお使いください。
- ◎ フレールモアアタッチは、ブームマスターZに装着し、雑草を刈り取るための機械です。その他の目的で使用しないでください。
- ◎ お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してください。
- ◎ 本製品を貸与または譲渡された場合は、この取扱説明書を商品に添付してお渡してください。
- ◎ この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社あるいは当社の特約店・販売店にご注文ください。
- ◎ なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本商品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ◎ ご不明なことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお店、または、お近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- ◎  印付きの下記のマークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。



警告

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを意味します。



注意

この警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを意味します。

重要

注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれのあるものをあらわします。

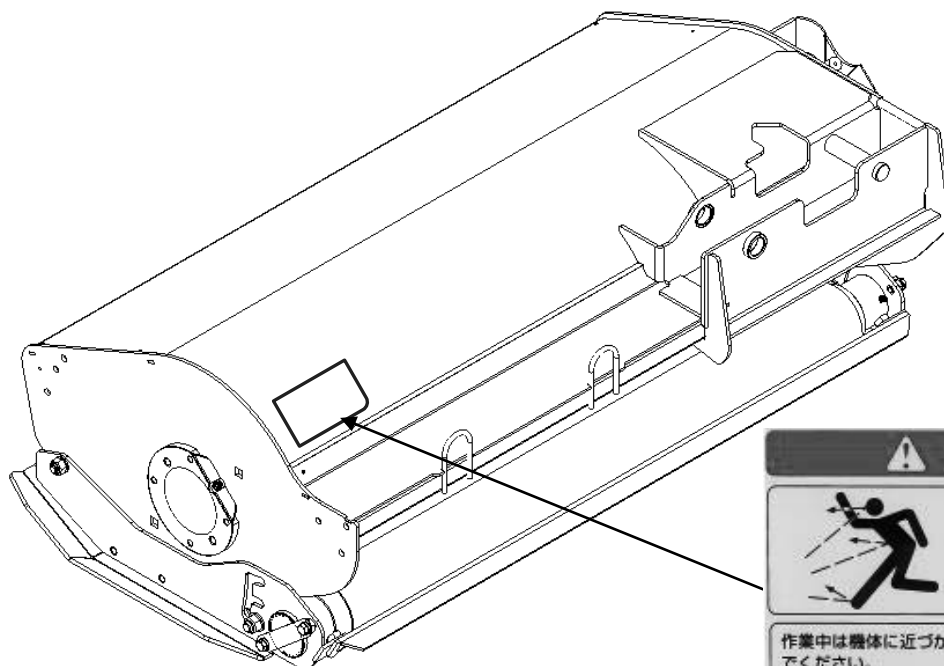
補足

その他、使用上役にたつ補足説明をあらわします。

安全銘板の貼り付け位置

⚠ 注意

安全銘板が破損したり、はがれたりした場合は、上記番号・名称にて手配のうえ、貼り直してください。
新しい安全銘板を貼る場合は、汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。



0000-04190

PLラベル(ヒサン、カイト)

保証とサービスについて

保証書について

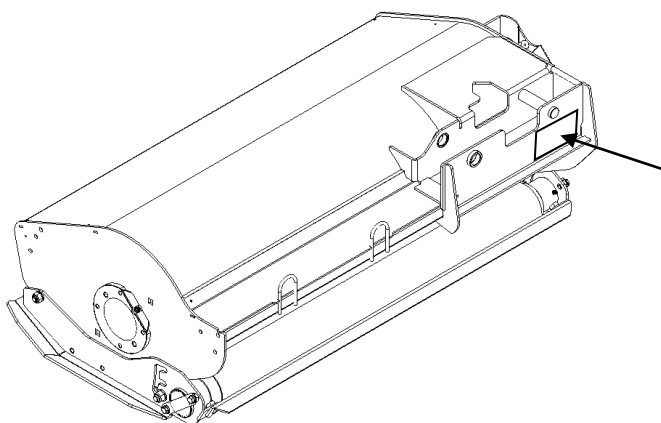
『保証書』は、お客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。
お読みになった後は、大切に保管してください。

アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点など不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店等にご相談ください。

《ご連絡いただきたい内容》

- ◇ 型式名（機体銘板に明記してあります）
- ◇ シリアル番号（機体銘板に明記してあります）
- ◇ ご使用状況は？
（どのような作業をしていたときに？）
- ◇ どのくらい使用しましたか？
（約何アールまたは約何時間使用）
- ◇ 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくおしらせください。



農業機械の種類	フレールモアアタッチ
型式名	MF90
区分	
シリアル番号	SS*****
	
株式会社 ササキコーポレーション 青森県十和田市里ノ沢1番地259 MADE IN JAPAN	

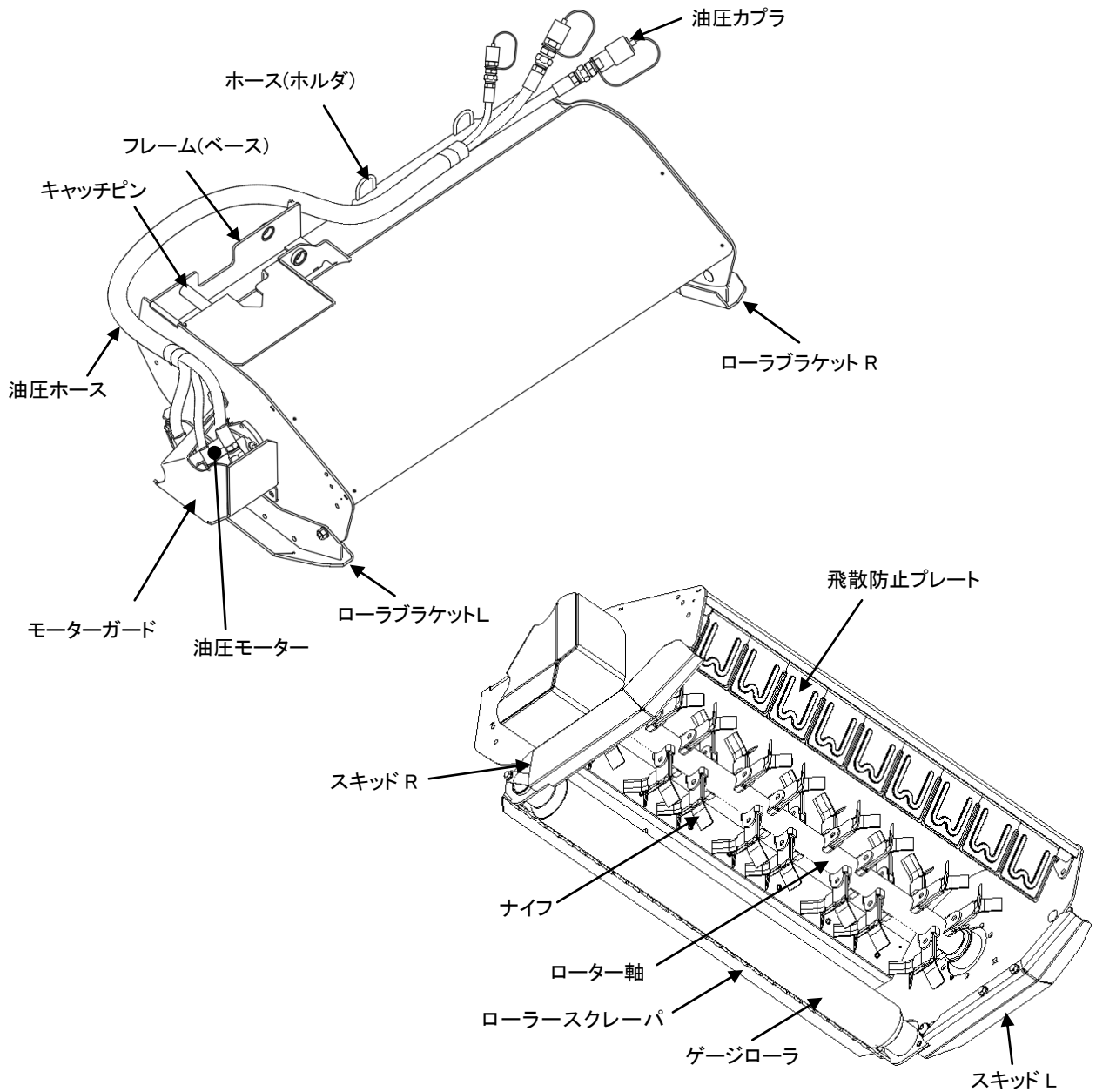
補修用部品の供給年限について

この商品の補修用部品の供給年限は、製造打ち切り後 **9年** です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期をご相談させていただく場合もあります。

各部の名称と、機能・役割

各部の名称



付属品

名 称	規 格	個数	備 考
保証書、納入指導確認書		1	
取扱説明書		1	

各部の名称と、機能・役割

各機能と役割

1. 刈り高さの調整

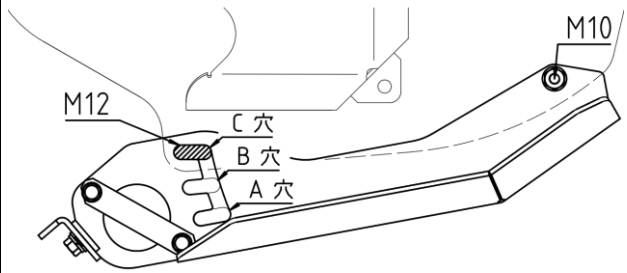
⚠ 注意

- 刈り高さの調整は、必ずPTOとローター回転の停止を確認し、作業を行ってください。
【守らないと】ローターに巻込まれて怪我をする恐れがあります。

ローラ取付けブラケットの左右両側ボルト4本を緩めることで、刈り高さを3段階変えることができます。

- 1-1. PTO回転を“入”にしてアームをリモコン操作し、作業部を展開位置にします。このとき、ゲージローラを50cm程度浮かせた状態にしてください。
- 1-2. ゲージローラの高さ調整が可能な位置に持ち上げたら、PTOを“切”位置にし、エンジンを停止させます。
- 1-3. ローラブラケットの前側M10ボルト、後側M12ボルトを緩めて、ゲージローラを上下に動かします。
- 1-4. 後側ボルトをブラケットのキリカキ位置に合わせ、ボルトをA～C穴のいずれかに入れ、しっかりと締めてください。下表を参考に、目的に合った穴位置を選択してください。

使用穴	刈り高さ (cm)
A穴	0
B穴	4
C穴	8



刈り高さは、フレームカバー面が地面と平行になった時のものを表しています。

- 1-5. 前側のM10ボルトを締め、PTOを駆動させて、格納位置に収納してください。

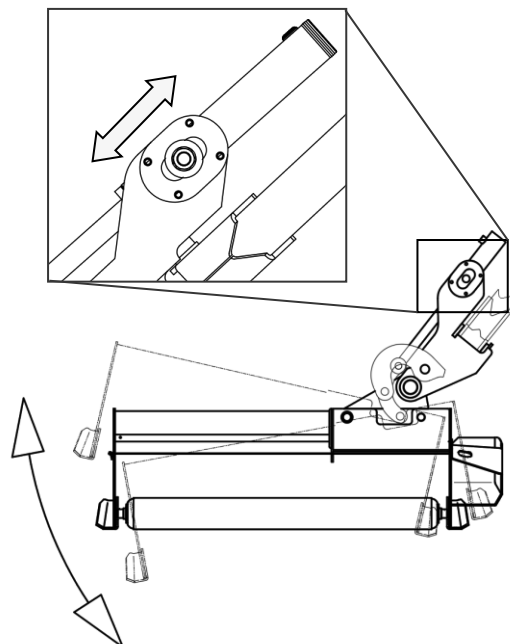
作業のしかた(P.11)をよく読んでから作業してください。

2. ロールフローティング機能

アタッチが左右回転方向に回動し、地面の凹凸による刈取部の突き上げに対応します。シリンダ4の支点部が長穴をスライドし、アタッチがローリングします。

補足

シリンダ4を伸縮させ、支点位置を調整して作業を開始してください。作業中、常にシリンダ4が長穴の中心にあるように、ロール操作で調整してください。



作業前の準備

危険

- 作業前点検は、平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所でおこなってください。
- 点検・調整作業をするときは、必ずエンジンを停止して下さい。
【守らないと】 障害事故や機械の損傷を引き起こす恐れがあります。

注意

- 作業中にボルト、ナット、ピン等が外れると、作業機の破損ばかりかトラクタの破損、人身事故につながるおそれがあります。

作業機を安全に、長くご使用いただくために、必ず作業前の点検を行ってください。

1. 各部のボルト・ナットの緩み、ピン類の脱落がないか、確認してください。緩み・脱落がある場合には、増し締め、組み付けをおこなってください。特に、ナイフの取り付けボルトに緩みがないか確実に確認してください。
2. 各部ヘグリスを注油してください。(P.17 参照)
3. ホース・継手金具の緩みや、油漏れがないか確認し、ある場合は増し締めしてください。
4. トラクタのタイヤ空気圧・フロントウェイトが適正か点検してください。
5. ナイフの減り具合を確認してください。
保守管理(P.16)を参照し、磨耗している場合は交換してください。

6. 各部に前回作業時の草や異物の絡み、詰まりがないか確認してください。
7. 寒い時期は使用する前に暖気運転してください。
8. 装着後、一度格納してトラクタへの干渉がないか確認し、必要に応じて上げ規制を行ってください。

フレールモアアタッチの着脱

装着の仕方

⚠ 危険

- 接続作業はエンジンを停止して行ってください。
【守らないと】思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意

- 装着作業する時は平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所でおこなってください。
- 車速 1km/h 以下で前後進してください。
- トラクタとアームの間に立たないでください。
- 必要なとき以外はエンジンを停止してください。
- 2人以上で作業をする時は、お互いに合図しあって、注意して作業してください。

重要

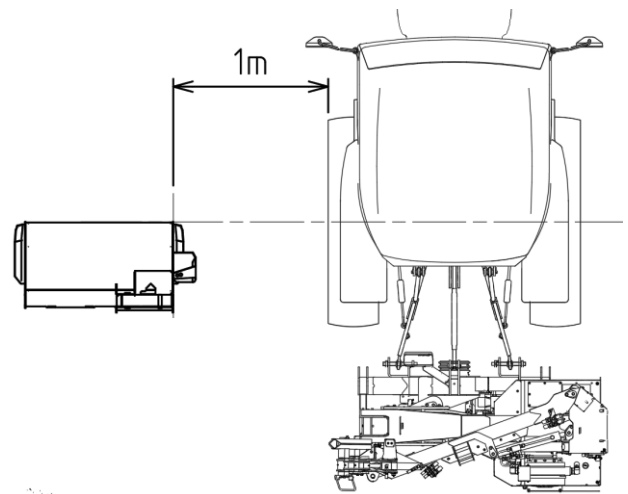
- フレールモアアタッチMF90は
ブームマスターZ BMZ100DX専用機です。
絶対に、BMZ200DXへ絶対に装着しないでください。
【守らないと】モーター回転数が過多になり、破損の恐れがあります。
- フレールモアアタッチMF100は
ブームマスターZ BMZ200DX専用機です。
絶対に、BMZ100DXへ絶対に装着しないでください。
【守らないと】アーム揚力に対して、アタッチ重量が重く、作業できません。また、重量バランスが悪化し、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 油圧カプラ、コネクタ(スイッチ)の接続部にゴミ、汚れがある場合は、きれいに取り除いてください。

1. アタッチを平らな地面に置いてください。

補足

- トラクタに近い位置で装着すると、アームが近接し、本体の近接防止機能が作動します。トラクタ側へ近づける操作を受け付けなくなり、装着できません。再度トラクタの停車位置を、アタッチから距離をとるよう調整してください。

2. フレールモアアタッチと平行に、トラクタをアタッチの右側へ近づけ、停車してください。トラクタとアタッチの間隔は1m程度を目安とし、停車位置を調整してください。



3. ブームマスター本体、コントローラの電源をONにし、トラクタPTOを回してください。操作レバーを操作し、アーム先端を際刈アタッチのフレーム(ベース)の近くまで動かしてください。

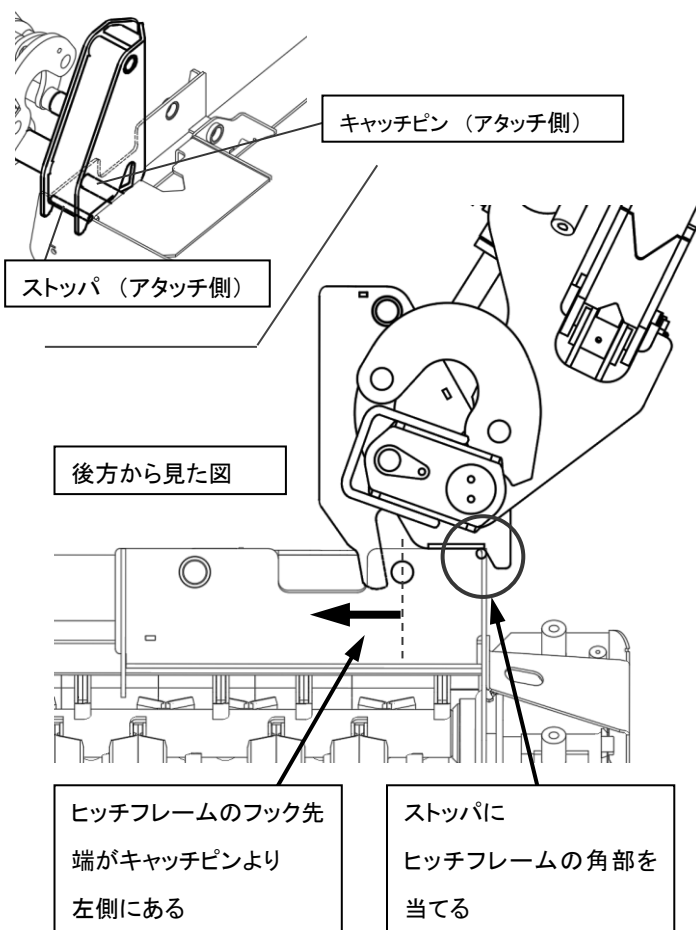
補足

- PTOを定格で回すと、シリンダの伸縮が速く、位置調整が難しい場合があります。アタッチの近くまでアームを展開したら、アイドルリングまで回転数を下げると、調整しやすくなります。

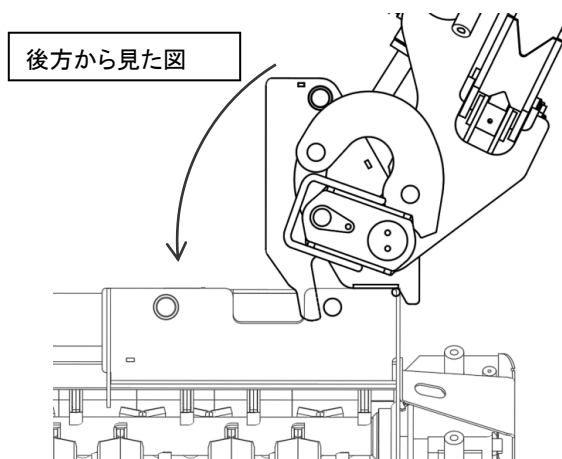
フレールモアアタッチの着脱

装着の仕方

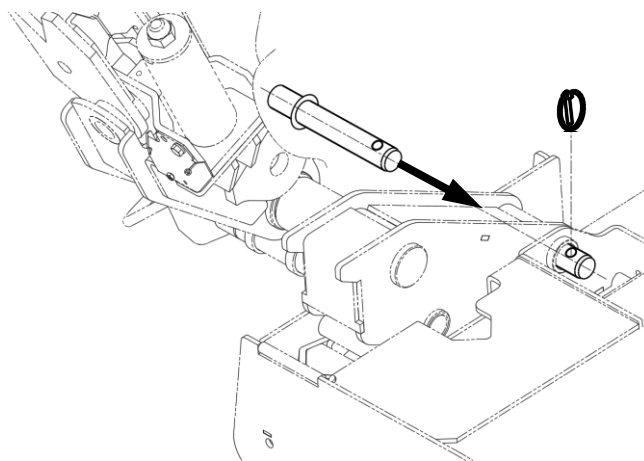
4.ブームマスター本体のヒッチフレームを垂直に立て、角部をフレーム(ベース)の縁にあるストッパにあてがうようにヒッチフレームの位置を調整します。角部をストッパに当てた状態で、ヒッチフレームのフック先端がキャッチピンより左側に入っているか確認してください。



5.操作レバー上面のグリップボタン“左”を押し、ヒッチフレームがアタッチのフレーム(ベース)底面に接するまで左回転させます。



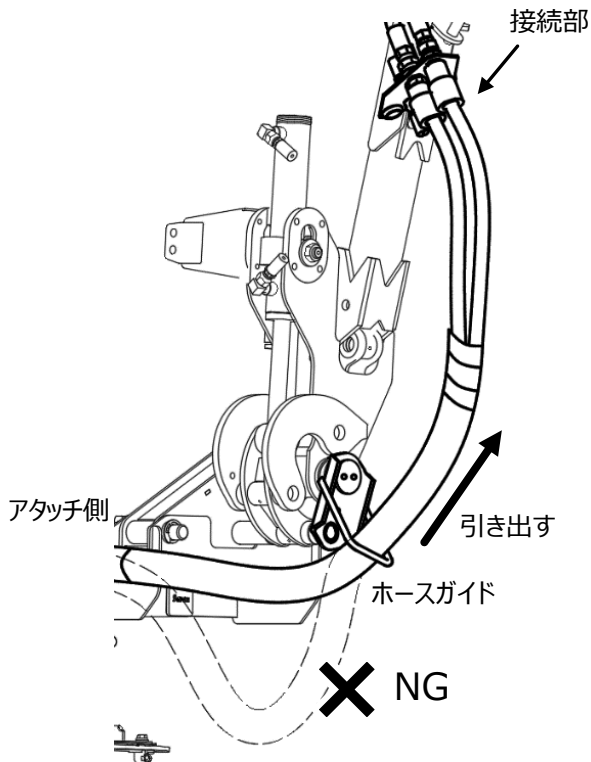
6.アタッチピンを挿入し、リンチピンで抜け止めをしてください。



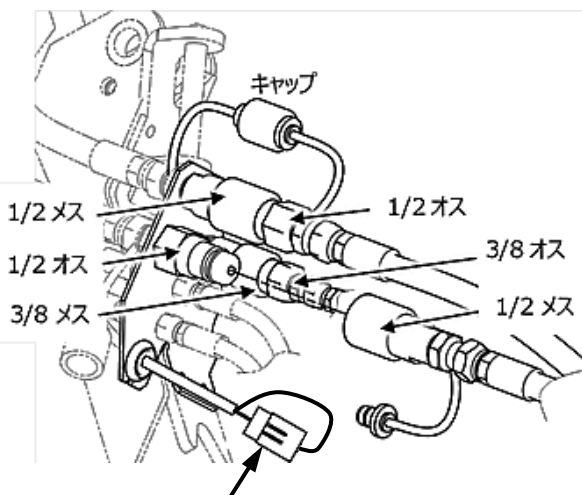
フレールモアアタッチの着脱

装着の仕方

6. ヒッチフレーム後側のホースガイドに油圧ホースを通し、油圧カプラ、コネクタ類を接続します。油圧カプラは1/2が2組、3/8が1組です。同じサイズ同士のオス・メスを接続してください。同様にキャップもすべて接続してください。



接続部詳細



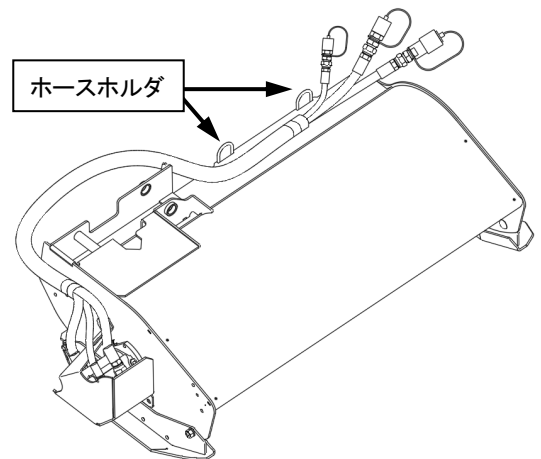
コネクタ(スイッチ)
フレールモアアタッチでは使用しません。装着時キャップをしてください。

取り外し方

重要

- 取り外した油圧カプラ、コネクタ(スイッチ)に必ずキャップをはめてください。
- 取り外した油圧カプラが地面に付かないよう、ホースホルダに掛かるようにモアカバーの上にとめてください。

アタッチの取り外しは、装着時と逆の手順で行ってください。



運転および作業の仕方

運転・操作の練習

⚠ 注意

- 安全に作業するため操作方法をよく理解してから作業してください
- 作業前には、必ず操作・運転の練習をしてください。

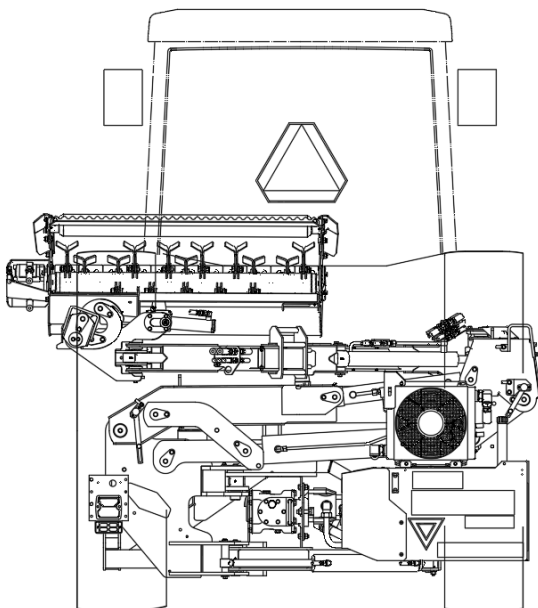
操作練習は、車速1km/h以下の低速で、回避操作と、障害物に刈取部を接触させる練習を行ってください。

移動の仕方

⚠ 警告

- トラクタの運転は、安全のため必ずシートベルトを締めておこなって下さい。
- 移動時は必ず格納位置にして、トラクタのPTOクラッチを切ってから走行してください。
- 急発進・急加速・高速走行・急制動・急旋回はしないでください。

移動走行時は、作業部を格納位置まで移動してください。



作業の仕方

⚠ 危険

- 安全のため必ずシートベルトを締めて作業をおこなってください。
- 回転部分には絶対に手や足をいれないでください。
- 回転部分に物が巻きついたときは、PTOの回転を止め、必ずエンジンを停止してから取り除いてください。

⚠ 警告

- 作業前・作業中は、必ずまわりに人がいないことを確認し、作業してください。
【守らないと】 飛散物をぶつけたりして、重大な事故を起こす恐れがあります。
- 斜面で作業をする場合、左右バランスが変わります。トラクタは、必ず平坦な所を走るようにしてください。
- 法面や路肩に近い所での作業は、作業前に地盤強度を確認のうえ、傾斜面から離れて走行してください。
【守らないと】 路肩等がくずれ、転倒や横転する恐れがあります。
- 法面作業をする場合、低速で余裕をもって作業してください。
【守らないと】 重大な事故を起こし死傷する恐れがあります。
- 作業前に作業場所の状態を十分に把握し、障害となるものは排除するか、その周辺は本機での作業をしないでください。
【守らないと】 無理に作業すると、機体の破損や思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 法面や路肩に近い所での作業時は、作業前に地盤強度を確認のうえ、傾斜面から離れて走行してください。
【守らないと】 路肩等がくずれ、転倒や横転するおそれがあります。

運転および作業の仕方

作業の仕方

警告

- 法面作業をする場合、低速で余裕をもって作業してください。
【守らないと】 重大な事故を起こし死傷するおそれがあります。
- 回転部が完全に停止するまで、アームを高い位置に持ち上げないでください。
【守らないと】 飛散物をぶついたりして、重大な事故を起こす恐れがあります。
- 本機を装着すると、前後バランスが変わります。発進時・登坂時トラクタの前輪が浮く場合は、フロントウェイトを取り付けてください。
- 作業中、補助作業者はできるだけ機械から20m以上離れて、作業してください。機械周辺に絶対人を近づけないようにし、人が近づいたらただちに作業を中止してください。
- 後進での草刈作業は実施しないでください。

注意

- つる状の草やビニールシート、紐など長いものはローター軸に巻きつきやすいので、作業前に作業場所から取り除いてください。
【守らないと】 巻きつきを取り除く際に怪我をする恐れがあります。

重要

- 草丈が高い場合は、地表の凸凹や段差・異物がないか危険なところがないかなど、安全に作業できることを事前に十分確認してから作業してください。
- ローター軸は高速で回転するため、石など硬いものは前後左右に10メートル以上飛散する場合があります。周囲に人や動物がいないことを確認してから作業してください。
- 周囲、地面の状態を確認し、下記のような作業場所での作業をおこなうときは、フローティング機能を使用”OFF”にし、浮かせた状態で作業してください。
 - ・草丈が高い(1m以上)
 - ・地面の起伏、凹凸が極端な場合
 - ・障害物が多く、頻繁に回避操作をする必要が有る場合
 - ・人の足が3cm以上沈むような軟弱地
- PTO回転数は、750rpm～1000rpmの範囲で作業してください。
- 草の丈が長い場合や量が多いと、ローターが回転しないことがあります。車速を下げ、モアを浮かせて二度刈りしてください。
【守らないと】 油温が上昇し、油圧ポンプやモーターを破損する恐れがあります。

運転および作業の仕方

作業の仕方

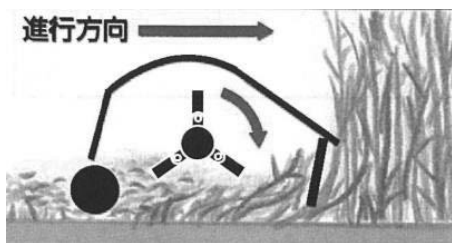
1. 作業前に作業場所の状況を必ず確認してください。
2. アームを展開し、地面と平行になるように刈取部の角度を調整し、接地させてください。
※展開操作の手順はBMZ100DX/BMZ200DXの取扱説明書を参照。
3. コントローラの“フローティングボタン”を押し、赤ランプが点灯した状態にします。(アームシリンダのフローティング機能待機状態)
4. ローター停止スイッチを解除位置にし、ローター回転スイッチを“アップカット”または“ダウンカット”へ切り替えてください。ローター軸が回転します。



スイッチ操作とローター軸の回転方向

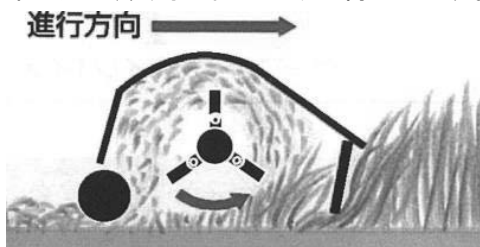
・ダウンカット

長い草に適し、小枝の粉碎や、異物飛散を抑えます。



・アップカット

短い草に適し、良好な仕上がりが得られます。



5. スイッチレバーを1回前に倒し、フローティングを開始します。PTOの回転を徐々に上げ、作業回転数を設定してください。
6. トラクタを前進させ、草刈を開始します。
7. トラクタの作業速度は、通常1～4km/hで、草丈に合わせて作業してください。

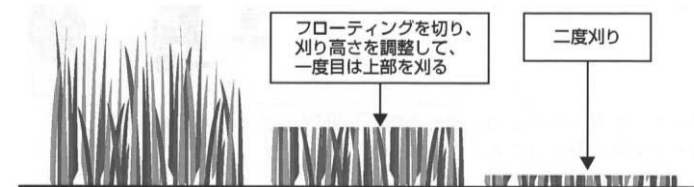
補足

●草丈・草刈作業場所に応じた車速の目安

草丈 / 草刈作業場所	作業速度の目安
草丈30cm未満	～4 km/h
草丈30cm以上 50cm未満	～2 km/h
草丈50cm以上 100cm未満	～1 km/h
草丈100cm以上	～1 km/h (二度刈り)
法面の草刈	～2 km/h
ガードレール越し等、 目視しにくい場所の草刈	～2 km/h

●作業のポイント

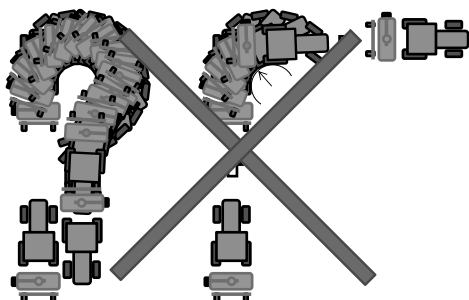
草丈が長い場合 ⇒ 草丈が長い草を一度に刈ろうとした場合、刈取部の処理能力を上回るため、フローティング機能を中断した状態で車速を下げ、刈取部を浮かせて二度刈りしてください



運転および作業の仕方

作業の仕方

8. スイッチレバーを1回前に倒し、フローティングを開始します。PTOの回転を徐々に上げ、作業回転数を設定してください。
9. トラクタを前進させ、草刈を開始します。
10. トラクタの作業速度は、通常1～4km/hで、草丈に合わせて作業してください。
11. アタッチを地面に着いたまま、急旋回(片ブレー旋回、倍速旋回)はできません。
急旋回した場合、本機の破損へつな갑니다。
やむを得ず急旋回する際は、アームを操作して作業部を持ち上げてから旋回を行ってください。



12. 草刈り作業走行が終了(又は中断)したら、ローター停止スイッチを押し、ローター回転スイッチを中立位置に戻してください。(ローター軸の回転停止)
13. ローター軸の回転が完全に停止したら、アームを持ち上げて地面から離脱し、格納位置まで折り置みます。格納操作の手順は、BMZ100/200DXの取扱説明書の「アームの格納方法」を参照ください。
14. 格納が完了したら。周囲の安全を確認し、移動走行してください。

作業上の注意

1. ローターの回転は、モアを地面に下ろしてローラを接地させてから回転させてください。
PTOクラッチの接続は、エンジン回転数を必ず下げた状態で接続し、徐々に回転数を上げてください。
2. ローター軸が回転している最中に、ローター回転スイッチで回転方向を切り替えしないでください。
3. 異音が発生した場合は、直ちにPTOクラッチを切り、エンジンを停止してから点検・処置してください。
トラブルの原因と処置方法(P.19)をお読みください。
4. 運転者が運転席を離れる時は、必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。
5. モアの周辺は異物等が飛散しますので、人や建物などに被害を与える可能性があります。危険です。
6. ロプス車で作業する場合は、安全のためにヘルメットや保護メガネを必ず装着してください。
7. キャビン車の場合は飛び石がガラス等を破損しないように、キャビンに金網とポリカーボネート板等で保護する対策をしてください。
8. 刈り取り圃場面に合わせた適切な走行速度を選択し作業してください。
9. 草丈の長い場所や、地面凹凸が大きい場合はフローティング機能をOFF状態にして、あらかじめ刈取り部を浮かせて作業してください。圃場に障害物がある場合は必ず、フローティング機能を中断し、回避してから作業を再開してください。
10. 刈り取り圃場面の状況や草刈り状態が目視確認出来ない場所・位置での作業はしないでください。

運転および作業の仕方

作業上の注意

11. ローターの回転は、モアを地面に下ろしてローラを接地させてから回転させてください。PTOクラッチの接続は、エンジン回転数を必ず下げた状態で接続し、徐々に回転数を上げてください。
12. ローター軸が回転している最中に、ローター回転スイッチで回転方向を切り替えないでください。
13. 異音が発生した場合は、直ちにPTOクラッチを切り、エンジンを停止してから点検・処置してください。
トラブルの原因と処置方法(P.25)をお読みください。
14. 運転者が運転席を離れる時は、必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。
15. モアの周辺は異物等が飛散しますので、人や建物などに被害を与える可能性があります。危険です。
16. ロプス車で作業する場合は、安全のためにヘルメットや保護メガネを必ず装着してください。
17. キャビン車の場合は飛び石がガラス等を破損しないように、キャビンに金網とポリカーボネート板等で保護する対策をしてください。
18. 刈り取り圃場面に合わせた適切な走行速度を選択し作業してください。
19. 草丈の長い場所や、地面凹凸が大きい場合はフローティング機能をOFF状態にして、あらかじめ刈取り部を浮かせて作業してください。圃場に障害物がある場合は必ず、フローティング機能を中断し、回避してから作業を再開してください。
20. 刈り取り圃場面の状況や 草刈り状態が目視確認出来ない場所・位置での作業はしないでください。

保守管理について

ナイフの交換

警告

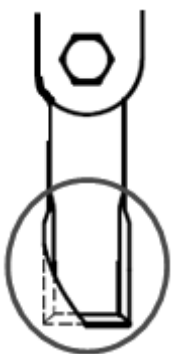
- ナイフ交換は、フレールモアアタッチを本体から外した状態で行ってください。
- ナイフ組立後、必ずナイロンナットの締め忘れがないか確認してください。
【守らないと】回転時にナイフが飛び出してケガをするおそれがあります。

1. ナイフの交換時期

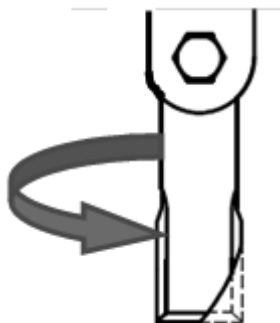
ナイフが摩耗すると刈取り性能が低下します。

下図のような摩耗状態になりましたらナイフを交換してください。

※ナイフの交換は1度に全数交換してください。機械破損の原因となります。

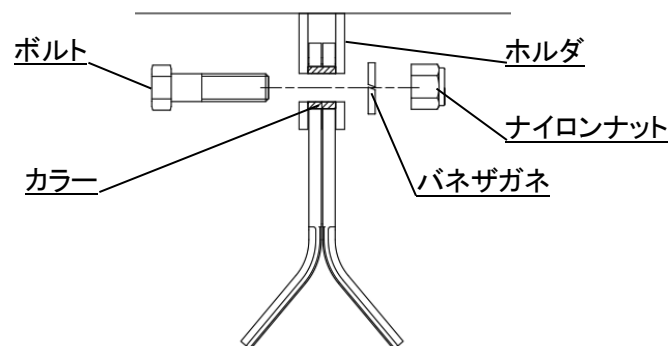


ナイフ先端が板の幅の半分程度まで摩耗したら交換または反転時期です。



※ナイフは反転して使用できます。両側磨耗したら交換時期です。

2. ナイフの組立手順



2-1. 図のように、ナイフを2枚合わせた状態で、カラーを穴に挿入し、ローター軸のホルダに入れてください。

2-2. 六角ボルトを穴に通してナイフを取り付け、バネ座金、ナイロンナットでボルトをしっかりと締めこんでください。

○締め付けトルク

・MF90 ⇒ 50Nm

・MF100 ⇒ 90Nm

保守管理について

作業シーズン中

警告

- 高圧油に注意すること。噴出している作動油を手足で触らないこと。
【守らないと】 高圧油が皮膚を突き破り、重大な傷害事故につながります。作業中、ホースや油圧部品から作動油が噴出した場合は、すぐにエンジンを停止し、作業部を接地させ、油圧管路内の残圧を必ず抜いてください。

1. 作業終了後、水洗いをしてボルト・ナット・ピン類・ホース・継手金具の緩み、脱落を点検し、不具合があれば、増し締め、補充を行ってください。
2. 注油をしてください。

作業シーズン終了後

水洗い・乾燥・補修塗装・塗油などを行います。破損部品・脱落部品がある場合は、早めに部品交換・修理をおこなってください。格納は、湿気・ほこりがなく平坦で安全な場所に安定させて保管してください。本体から外して保管する際は、必ず油圧カプラにキャップをして、ゴミ・汚れが付着しないように保管してください。

グリス注油箇所

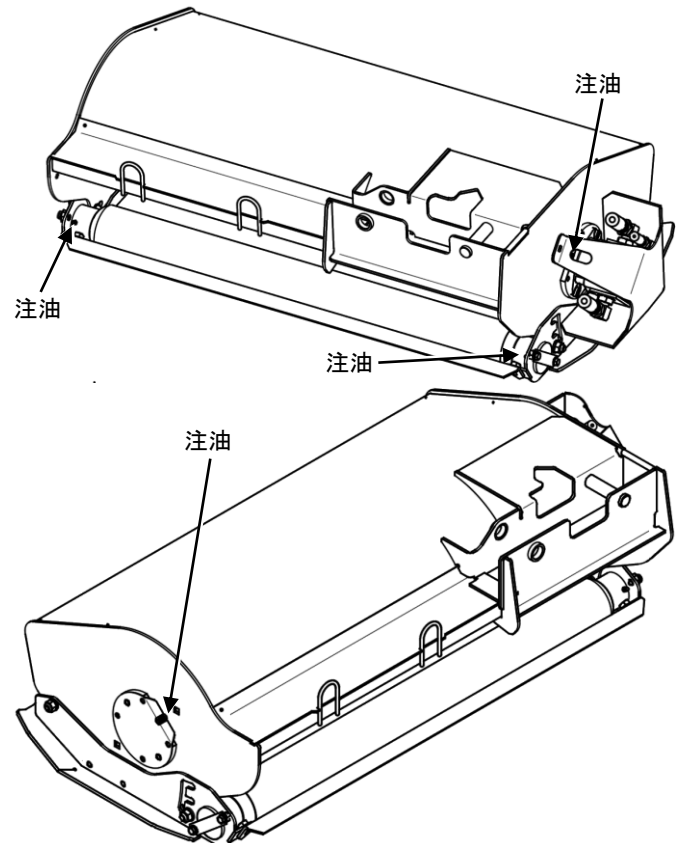
警告

- 本体に装着した状態でグリスを注油する際は、必ずPTOを切って、トラクタのエンジンを止めてください。
【守らないと】
 - ・回転体に巻き込まれ、傷害事故を引き起こします。
 - ・機械にはさまれ、傷害事故を引き起こします。

重要

- 作業機の性能を発揮するため、すべての注油は作業ごと(8時間毎)に注油してください。
- 指定されたグリスを使用してください。十分な性能が発揮できなかったり、破損の原因になります。

使用グリス : リチウムグリス
工場出荷時 : JXエネルギー
 : エピノックグリスAP(N)





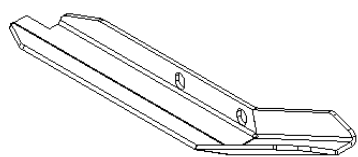
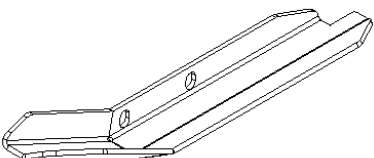
保守管理について

消耗部品一覧

重要

- 純正部品以外の使用による不具合や破損は補償の対象外となります。
- 下記一覧に記載していない部品が、破損、脱落、紛失した際は、お買い上げの販売店へ早急に注文・交換を依頼してください。

本製品は使用に当たり、消耗していく部品があります。作業前や作業終了後には各部品を確認し、交換目安より減っている、破損している場合は交換してください。

本誌記載名	交換目安	注文時品名	品番	個数/台
MF90用 ナイフ 	ナイフ先端刃先から、 板の幅の半分程度ま で磨耗 ナイフの交換時期(P16参照)	ナイフ	K3A2521000	64
		スペーサ	K3A2522000	32
		ボルト	0182210035	32
		ナイロンナット	0559010000	32
		バネザガネ	0170210000	32
MF100用 ナイフ 	ナイフ先端刃先から、 板の幅の半分程度ま で磨耗 ナイフの交換時期(P16参照)	Y字ナイフ	K562141000	44
		カラーA	K5A2154000	22
		ボルト	0101212040	22
		ナイロンナット	0158012000	22
		バネザガネ	0170212000	22
スキッド L (MF90/100兼用) 	板厚が2mm以下に なったら 出荷時4.5mm	スキッド L	K3B1556000	1
スキッド R (MF90/100兼用) 	板厚が2mm以下に なったら 出荷時4.5mm	スキッド R	K3B1557000	1

トラブルの原因と処置方法

	現象	原因	処置	ユーザー	販売店
油圧ホース 接続金具	異常発熱	本体オイル量の不足	オイルの補給	○	○
		本体オイルフィルターが 目詰まり	オイルフィルターの交換	×	○
	オイル漏れ	シールの損傷	シールの交換	○	○
		接続金具の緩み	増し締め	○	○
		油圧ホースの損傷	油圧ホースの交換	×	○
ローター軸	異音発生	ベアリングのグリス切れ	ベアリングにグリス注油する	○	○
	刈取不良 振動が大きい	PTO回転数不足	PTO回転数750~1000まで上げる	○	○
		ナイフの摩耗	ナイフの交換	○	○
		油圧モーターの故障	油圧モーターの交換	×	○
		ローター軸の破損	ローター軸の交換	×	○
	回転しない	草、ゴミの絡み	草、ゴミを取り除く	○	○
		PTOが回転していない	PTOを回転させる	○	○
		油圧カプラの抜け	油圧カプラを差しなおす	○	○
		油圧モーターの故障	油圧モーターの交換	×	○
		カップリングの故障	カップリングの交換	×	○

主要諸元

名称	ブームマスターZ 専用 フレールモアアタッチ	
型式	MF90	MF100
全長(mm)	590	700
全巾(mm)	1170	1355
全高(mm)	330 (刈高 : 8cm 時)	500 (刈高 : 8cm 時)
刈幅(mm)	900	1000
重量(kg)	80	105
作業速度 (km/h)	1~4	
刈高さ(cm)	0 / 4 / 8 の三段階調整	0 / 4 / 8 の三段階調整最小
ローター軸回 転数(rpm)	2150 rpm (PTO750rpm)	1920 rpm (PTO750rpm)
PTO 回転数 (rpm)	750~1000	
作動油	VG32 相当	
最高使用圧力 (MPa)	20.6 MPa	

MEMO

購入日

年

月

日

型式

シリアル番号



株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本社・工場 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111	FAX 0176-22-8607
製品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170	FAX 0176-25-3127
部品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170	FAX 0176-25-3171
北東北営業所 / 〒034-0001	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354	FAX 0176-23-9655
仙台営業所 / 〒989-1631	宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780	FAX 0224-58-7782
関東営業所 / 〒329-0201	栃木県小山市粟宮1241-9	TEL 0285-45-8911	FAX 0285-45-8910
新潟営業所 / 〒954-0051	新潟県見附市本所1丁目14番17号	TEL 0258-61-1810	FAX 0258-62-3160
岡山営業所 / 〒702-8002	岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508	FAX 086-274-9510

ZT00000002

(2202-K3B0681000)